

「Smart-Aging Care プロジェクト」

超高齢社会、介護業界が抱える課題に向き合い、パナソニックでは様々なテクノロジー活用によって高齢者や支える方々のすべてが生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、「Smart-Aging Care プロジェクト」を始動しています。

[課題解決へのアプローチ]

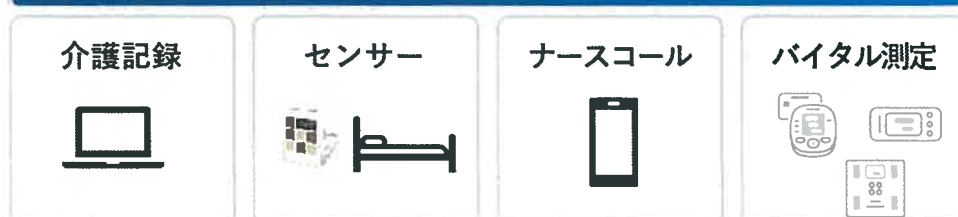
- ・見えなかった情報を気付く AI センシング
- ・集めた情報から、人がより生き活きと、人を活かすことを考える AI アナリティクス
- ・そして、情報を活用して暮らしをよりよくなる Update サービスの提供

主な提供パッケージ

一部業務（夜間巡視など）をセンサーに代替え、記録業務も削減



介護業務支援プラットフォーム



本プラットフォームには、様々なメーカーの記録システム、センサー／ロボットなどと連携、あるいは連携開発を実施しております。例えば、センサーがとらえた結果を自動記録させることで、圧倒的な生産性向上と、利用者ごとの分析が可能となります。

2019年度、本プラットフォームを活用した介護施設業務の生産性向上の効果検証を実施し、ユニット型特養において、人員配置 2.87:1 の実現ができました。

<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/wg/iryoku/20200220/200220iryoku02.pdf>

(参考)

パナソニック Smart-Aging プロジェクト : <https://tech.panasonic.com/jp/lifelens/>

本プラットフォームでの目指す姿 : <https://channel.panasonic.com/jp/contents/27455/>

○将来展望

上記の介護業務支援プラットフォームは、現在、施設介護の生産性向上および質の向上を目指した取り組みですが、当社として、在宅の高齢者の暮らしをアップデートするソリューションの検討を始めています。

弊社では、自立支援介護に特化したデイサービス事業者（ポラリス）との共創により、IoTセンサーやAIといったテクノロジーを活用し、在宅の普段の生活実態の中から、必要なサポート量の特定（アセスメント）や、リハビリ等の介入によってどこまで高齢者を元気にできるのかといった予後予測を行うシステム開発を行っております。また、「社会課題をICTと先端技術の力で解決する」をミッションとしたウェルモとも、テクノロジー活用による社会課題解決に向けた意見交換を行っております。

対面でアセスメントやモニタリングするといった業務が無くすことのできる、After/Withコロナ社会における新たな介護業務モデルの構築を目指し、共創の輪をさらに広げ、引き続き取り組んでいきます。

参考 : <https://news.panasonic.com/jp/press/data/2018/02/jn180221-1/jn180221-1.html>